



## 尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



## 新年のごあいさつ

皆様、明けましておめでとうございます。

平素より当院の運営にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

平成22年は期待されて誕生した鳩山政権の迷走や、政治とカネの問題などが参議院選挙での民主党の敗北につながり、菅政権が誕生しましたが、やはり閣僚の失言や外交での不手際などで支持率は低迷、指導力の欠如が露呈し、医療・福祉の充実もうたわれていますが財源は明確でなく、どれほど実現するものかと先行きの不透明感に国民は皆不安を感じているところだと思います。

ただ医療界にとって良かったことはわずかながら診療報酬のプラス改定があり、急性期病院に対する配分が増加したことです。赤字の自治体病院がやや減少したとのことですが当院も3年間ぶりに黒字となりました。これは太田前院長や職員の血のにじむような努力の結果と考えています。今後も低医療費政策が大幅に改善される見込みは無く、職員一同医療のレベルを維持しつつ健全な経営に一層の努力をしてゆく所存であります。

当院に目を向けますと、昨年度は6月に最新鋭のリニアックを導入、がんの診療に大いに威力を発揮しております。今年度は5東病棟を集学的がん診療センターとして改修、4月より稼動する予定です。同センターには緩和ケア支援病床（10床）、外来化学療法室（12床）、抗がん剤のミキシング室などを設置し、がん患者を集約して治療することとなります。おかげさまで11月に広島県指定がん診療連携拠点病院の指定を受けることができましたが、がん診療が効率的に行えるように、昨年組織としてがん診療統括部を立ち上げました。

これによりがん診療を組織横断的に行える体制が整備されました。引き続きがん診療に力を注いでゆきたいと思っております。また院外では継続的に地域医療連携の強化に努め、院内ではチーム医療を推進し、血管診療センターをはじめ色々な部門で多職種連携、協働の体制をさらに充実させてゆきたいと思っております。

救急医療は当院の診療のひとつの柱でもありますが、当院も全国的な勤務医不足の例に漏れず、尾道市医師会、松永沼隈地区医師会、JA尾道総合病院の先生方のご助力により、何とか持ちこたえているのが現状であります。この場を借りてご協力いただいている先生方に深謝申し上げます。

「尾道市の地域医療を守る条例」にうたわれているごとく、市民の皆様に病院が限られた体制の中で機能していることを理解して頂き、かかりつけ医を持ち安易な夜間休日の受診を控えるなど適正な受診を心がけていただき、ご協力いただくことも重要と考えております。本来、夜間の救急診療は尾道の医師全員で担うべきとも考えられ、今後救急体制の見直しが必要と考えております。先生方のご協力もよろしくお願い申し上げます。

本年も引き続き病院の理念のごとく「信頼される安全で質の高い医療を提供し市民の皆さまの健康を守る」ことが出来るよう、職員一同邁進してまいりますので、変わらぬご厚誼と、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

尾道市立市民病院  
院長 宮田 明



## 県のがん拠点病院に指定されました

平成22年11月16日、当院は「広島県指定がん診療連携拠点病院」に指定されました。

この指定制度は、国指定のがん診療連携拠点病院への患者さんの集中を防ぐことや身近な病院での治療を希望する患者さんのニーズに応えることなどを目的に、県により創設されたものです。

当院の5大がんの集学的治療（手術・放射線治療・化学療法等）や専門医の配置、緩和ケア提供体制の整備、地域の医療従事者に対する研修などが、国指定病院と同等の機能を有すると県から認められ、県内4施設のうちの1つとして指定されました。

平成22年は、がん治療において診療科を超えた連携やチーム医療を充実させるために「がん診療統括部」をつくりました。

また、6月には最新の高精度放射線治療装置

（リニアック）を導入しました。

そして、現在は抗がん剤の調剤室、緩和ケア病床、放射線療法及び化学療法患者ベッドを集約化し、効果的な治療・ケアが効率的に提供できる「集学的がん治療センター」を新設するため、5階フロアの改修を行っています。

今後も、国が指定する拠点病院と同様に、質の高い高度な医療の提供や地域の医療者に対する研修の充実など尾三医療圏のがん医療の中核的医療機関としての役割を果たしていきます。

当院のがん診療の現状について、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

アドレスは・・・

<http://www.onomichi-hospital.jp/>

医政第51号

### 広島県指定がん診療連携拠点病院指定通知書

尾道市立市民病院

平成22年9月15日付けで申請のあったこのことについては、広島県指定がん診療連携拠点病院指定要綱（平成22年8月18日施行）第2条第2項の規定に基づき指定する。

なお、指定期間は、平成22年11月16日から平成26年3月31日までとする。

平成22年11月16日

広島県知事 湯崎英彦







耳鼻咽喉科  
竹田 雅聖 医師

平成22年10月1日より尾道市立市民病院耳鼻咽喉科に勤務しております。

外来は医師1人、看護師1人、看護助手1人の計3人で日常診療を行っています。医師は私1人なので、顔面外傷や鼻出血等の急患が入ると外来がストップしてしまうこともあります。皆様の御協力もありこれまで大きなトラブルなく経過しております。

午前是一般外来を行い、午後は鼓膜チューブ挿入術や鼻内レーザーなどの小手術や組織採取検査などを行っています。

入院治療にも対応しており、点滴や安静が治療の主体となる急性扁桃炎、突発性難聴、末梢性めまい、顔面神経麻痺などが主な疾患です。

手術症例については過去5年あまりの症例をまとめてみると上位5疾患は以下のようでした。

- ①扁桃摘出術 159例
- ②鼻副鼻腔手術 101例
- ③気管切開術 61例  
(主として内科より依頼)
- ④咽頭形成術 36例
- ⑤喉頭微細手術 28例  
(平成17年8月から平成22年9月まで)

医師1人ではありますが、今後もできるだけ積極的に手術もやっいていこうと考えております。

また1人では難しい手術については近隣の先生方に助けていただきながら行っています。

それから水曜日午後は専門外来として睡眠時無呼吸外来を行っています。精密検査が必要な場合は1泊入院での終夜睡眠ポリグラフ検査を勧めています。

睡眠時無呼吸の治療の第一選択は保存的治療であるCPAP(持続的陽圧呼吸法、つまりマスクを当てて空気を送りながら圧力をかける方法)です。毎日継続している方についてはCPAPによる無呼吸の改善率はすばらしいものがあります。

しかしCPAPを導入した方の3~5割の方は途中で止めてしまっているとの統計もあり、全体をまとめた改善率はあまり芳しくないものになってしまっています。

これは大変大きな問題であり、今後CPAP継続率をどのように上げていくかに苦心しています。

また、どうしてもCPAPが続けられない方に対する他の治療の選択肢が必要となってきます。

上気道の狭さが原因の場合(肥厚性鼻炎、鼻中隔彎曲症、口蓋扁桃肥大、舌扁桃肥大など)には手術によって狭さが改善すれば、無呼吸の治療にもつながります。

今後は、一般的な耳鼻科診療のレベルアップと同時に「尾道市民病院耳鼻科ならではの」という特徴を何か1つでも出していけたら、と思っております。

今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。





紹介・ごあいさつ



脳神経外科  
岡 哲生 医師

平成22年11月より尾道市立市民病院 脳神経外科で勤務させていただいております岡哲生と申します。

私は昭和56年に岡山県総社市で生まれ小中高時代を総社市で過ごし平成14年に岡山大学医学部へ入学しました。

大学時代はバドミントン部に所属し、多くの日々を夜中まで体育館で過ごしておりました。

平成20年に大学を卒業し、卒後臨床研修は岡山労災病院にて行い、平成22年4月より岡山大学病院で勤務しておりました。

高校時代に祖母が脳梗塞となったことをきっかけに脳に興味を抱き、医学部を目指しました。

部活の顧問が脳神経外科の伊達教授であったこともあり、脳神経外科を専攻すること

になりました。

また当科の岩戸先生とは、私が大学3年時に脳神経外科配属となった際、脳腫瘍研究のお手伝いをさせていただきました。当院に赴任してきて再び岩戸先生の下、御世話になることになったことに何かしらの縁を感じます。

医師になって3年目であり、自分の知識・経験の乏しさを痛感する毎日で、日々の診療に反省することばかりですが、土本副院長、合田先生、岩戸先生の温かい御指導のもとで研鑽を積ませていただいております。

まだまだ右も左もわからない若輩者で、諸先生方には御迷惑をお掛けすることと思いますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願い申し上げます。



紹介・ごあいさつ

外科  
松本 朝子 医師

当院外科に赴任していただいた松本朝子先生のご紹介と共に、現在の外科の現状をご紹介します。

当院外科は平成22年3月に太田 保前院長が退任された後、6人体制で日常診療と救急診療をこなすこととなり、ボディーブローのようにスタッフの疲労が蓄積しておりました。

タオルを投げ入れる寸前に平成22年10月より松本朝子先生が外科に赴任されスタッフの元気が回復いたしました。

松本朝子先生は平成10年香川医科大学(現香川大学医学部)をご卒業され、同年女性としてはまだ珍しかった外科を選ばれ岡山大学第一外科(現消化器腫瘍外科)に入局されました。

津山中央病院や高知医療センターで研鑽をつまれ、癌外科から救急診療まで幅広く診療

していただいています。

今後当院でも様々な症例を経験され、臓器専門性も高め尾道市立市民病院外科の一翼を担っていただけるものと期待しています。

皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

また、今までのスタッフもそれぞれ精進し臓器専門性を高めつつ、一般外科の能力アップに努めています。

ホームページに細かい内容が書かれておりますので、一度ご覧ください。本年もよろしくお願い致します。

外科 川真田 修





### 感染対策の合言葉は、持ち込まない！持ち出さない！広げない！

感染管理認定看護師 内海 友美

私は感染管理認定看護師の資格を取得し、医療安全管理部 感染制御室で専従看護師として活動しています。

感染管理の目的は、医療施設すべての人々を感染から守ることです。

その中で感染管理認定看護師は、疫学の知識に基づく医療関連感染サーベイランス（調査）を実践し、ケア改善にむけた感染防止技術の指導や多職種と連携し問題解決に向けた相談・調整等を行う役割があります。

今回は、実際の活動内容について簡単にご紹介します。



#### 【認定看護師とは】

高度化及び専門分化する保健、医療及び福祉の現場において、熟練した看護技術及び知識を必要とする看護分野として認定看護師制度が発足されました。

現在21分野（総数7,364名）あり、感染管理認定看護師は全国に1,180名、広島県内に28名誕生しています。

#### 【感染管理認定看護師としての活動内容】

院内感染防止対策チーム（ICT）の一員として、感染制御医師、感染制御認定臨床微生物検査技師、感染制御認定薬剤師と共に感染管理活動をしています。

#### 1. 実践

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌等の耐性菌や治療に必要な留置カテーテル等による感染の有無について、医療関連感染サーベイランス（調査）や院内ラウンドを行っています。

また、ICTと現場スタッフ間の連携を図り、異常の早期発見や感染防止対策の推進に努めています。

#### 2. 指導

新人看護師やコメディカル等を対象とし、感染防止対策に必要な知識や技術について教育を行っています。

また、平成21年に『院内認定感染管理士制度』を設立し、臨床現場における感染管理実践モデルの育成に力を入れています。

#### 3. 問題解決に向けた相談・調整

流行性疾患への対応や職員の体調管理など感

染対策に関する相談があります。

相談の中には即時対応を求められる内容が多く、専門的な知識と経験を生かして問題解決に努めています。

また相談内容によっては、リスクマネージャー（GRM）や他分野の認定看護師等と協働で対応することもあり、組織内でスムーズな対応が行えるよう携わっています。





各種行事紹介

12/9

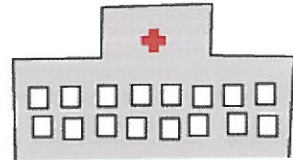
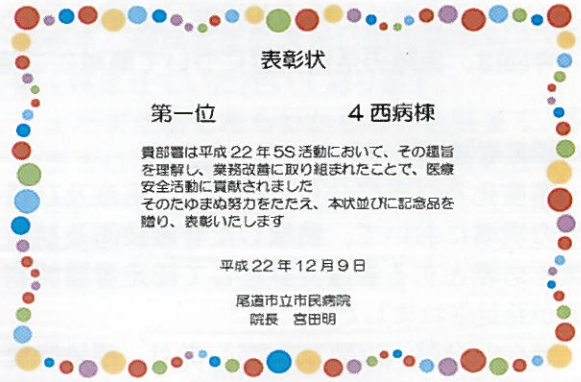
5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動中間発表会を行いました。

病院業務のリスク低減と作業効率向上のために、医療安全管理部と看護部は5S活動に取り組んでいます。

平成21年の11月に5S活動の実際について講義を受け、平成22年5月から取り組みを始めました。各病棟、外来、手術室で現在進行中ですが、12月9日に中間発表会をおこない優秀なチームには表彰状と記念品が贈られました。

他部署の活動内容がわかったことが刺激になり、さらに取り組みに熱が入りそうです。

表彰式



12/14

院内接遇ロールプレイング大会を実施しました。



実際の医師が理学療法士役になり患者役の言語聴覚士に迫る！

看護師が患者の家族になり、看護師の対応にクレームを…



当院では、平成21年から院内で接遇ロールプレイング大会を開催しています。各部署から、様々な問題を取り上げて、実際に体験をして、よい対応の仕方を多職種職員全員で考え、院内全体の接遇の向上に向けて取り組んでいます！



各種行事紹介

11/15・16

第24回市民病院文化祭を開催しました。



厚友会のクラブ（絵画、生花、ステンドグラス）による作品展示と患者さん及び地域の方々の作品展示をおこなっています。



お茶会  
たくさんの方々にお茶と和菓子を  
ふるまいました。



香りクラブ  
ハンドマッサージを好きな香りで  
おこないました。

12/16

職員52名で消防訓練を実施しました。



12/16

クリスマス会を実施しました。



尾道准看護学院の学生さんによる  
ハンドベル演奏

毎年きれいな音色を聞かせてもらっています。



スタッフによるバルーンアート、  
ウサギと犬を作成中



院長先生扮するサンタクロースからのプレゼント  
みなさんプレゼントをもらって、笑顔になりました。





科別診療割表

診療受付時間  
午前8時30分から午前11時まで  
休日・土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

科別	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科	1 診	山脇 泰秀 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	藤野 寿幸 内分泌代謝	山脇 泰秀 内科全般	宮内 明 内科全般	
	2 診	藤野 寿幸 内分泌代謝	水戸川 剛秀 内科全般	橋本 昌美 甲状腺・腎臓	水戸川 剛秀 内科全般	藤野 寿幸 内科全般	
	3 診	城戸 雄一 糖尿病	開原 正展 腎・高血圧	開原 正展 腎・高血圧	橋本 昌美 アレルギー・腎臓	辻 憲二 腎臓内科	
	4 診		橋本 洋夫 リウマチ・膠原病		城戸 雄一 糖尿病		
総合診療科		雛元 紀和	宮田 明	甲斐 華恵		岩戸 真紀	
呼吸器科		巻幡 清		巻幡 清	川真田 修	巻幡 清	木曜日は外科外来で診察
消化器科		甲斐 華恵	前島 玲二郎	河合 良成	河合 良成	前島 玲二郎	
循環器科		小林 博夫	河合 勇介	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	
神経内科			岡本 美由紀			逸見 祥司	
外科	1 診	中井 肇 肝、胆、膵、消化器	宇田 征史 消化器、鏡視下	宇田 征史 外科全般	中井 肇 肝、胆、膵、消化器	村田 年弘 外科全般	
	2 診	久保田 暢人 外科全般	上塚 大一 消化器、ヘルニア	上塚 大一 肛門科	川真田 修 呼吸器	川真田 修 乳腺、食道	
整形外科	1 診	廣岡 孝彦	藤井 淳一	廣岡 孝彦	小瀬 靖郎	廣岡 孝彦	
	2 診	藤井 淳一	東条 好憲	小瀬 靖郎	東条 好憲	川上 直明	
	3 診	小瀬 靖郎	装 具	川上 直明	藤井 淳一	装 具	
	4 診	河合 亮	河合 亮				
小児科		佐藤 正義	佐藤 正義	佐藤 正義	佐藤 正義	佐藤 正義	月1回 林 優子 偶数月第4金曜日 脇 研自
脳神経外科	1 診	土本 正治	合田 雄二	岩戸 英仁	土本 正治	合田 雄二	
	2 診	合田 雄二					
産婦人科	新患再来 妊婦健診	大村 裕一	岸本 佳子 大村 裕一※	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	※9時より診察
皮膚科		上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	甲斐 誠二	大枝 忠史	野崎 邦浩	大枝 忠史	
	2 診	野崎 邦浩	大枝 忠史	野崎/甲斐※	大枝 忠史	甲斐 誠二	※隔週交代
耳鼻咽喉科		竹田 雅聖	竹田 雅聖	竹田 雅聖	竹田 雅聖	竹田 雅聖	
眼		諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵	手 術	諫見 久恵	
放射線科	画像診断	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	
	治療	岸 亮太郎	岸 亮太郎	岸 亮太郎	岸 亮太郎	岸 亮太郎	
歯科・歯科口腔外科		吉田 明弘	勝井 邦彰	手 術	吉田 明弘	吉田 明弘	火曜 AM・金曜 PM 予約診療

内科	検診	検診	検診	検診	検診	
循環器科		ベースメーカー外来				14:00から
循環器科検査	心カテ	経食エコー	心カテ	経食エコー	心カテ	13:00から17:00
外科	手術	検査	手術	検査	手術	
整形外科	検査	手術	手術	検査	手術	
小児科		乳児検診	予防接種	慢性疾患 予約外来	慢性疾患 予約外来	月～金 脳波検査
脳神経外科	検査	手術	検査	手術	検査	
産婦人科		母乳外来 1か月検診 手術	母親学級※	母乳外来 1週間検診 手術	1週間検診	※第2・3・4週のみ
皮膚科	手術	検査	手術	検査	検査	
泌尿器科	手術	手術	検査	手術	予約外来 検査	
耳鼻咽喉科	手術	検査	睡眠時無呼吸外来	手術	検査	
眼	検査	検査	検査	検査	検査	
放射線科	画像診断	画像診断 血管造影	画像診断	画像診断 血管造影	画像診断	
歯科・歯科口腔外科	手術	手術	口腔外科	検査	口腔外科	予約診療

専門外来	乳腺外来 (松岡・本後)	血管診療検査 (血管診療センター)	睡眠時無呼吸外来 (竹田)	血管診療検査 (血管診療センター)	1週間検診	予約制
	禁煙外来 (上田)	ベースメーカー外来 母乳外来・1か月検診 黄斑外来(諫見)	母親学級 もの忘れ外来(松山)	母乳外来・1週間検診 肝臓専門外来 (中井・河合良)		

案内図

